

令和5年5月29日

東松島市議会議員 小野 幸男 様

(会派名) 自公・市民の会

代表者氏名 土井 光正

会派活動実施報告書

東松島市議会政務活動費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目(該当を○で囲む)

調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要望・陳情活動費、会議費

- 活動名称：東北電力女川原子力発電所視察
- 実施期日：令和5年5月19日(金)
- 活動成果：

視察概要は以下のとおり

日時：令和5年5月19日(金) 9:30~12:30

場所：東北電力女川原子力発電所

出席者：東北電力女川駐在地域統括 土田茂、所長代理 後藤宏、佐々木司、
課長 長谷川義浩、畑田真一郎、原子炉主任技術者松永哲哉
(会派出席は別紙名簿のとおり)

目的：来年2月女川2号機の再稼働に向けた取組状況、進行状況を確認し
今後の原発行政に対する参考とする。

所感：再稼働に向けての対策工事や安全対策についての概要説明を
受け、原発施設に移動し工事状況等を視察した。2年前に視察
しているが現地の変化が印象的で再稼働に向けての意気込み
が感じられた。絶対安全無事故の万全体制での再稼働をお願い
したい。(以下質問内容)



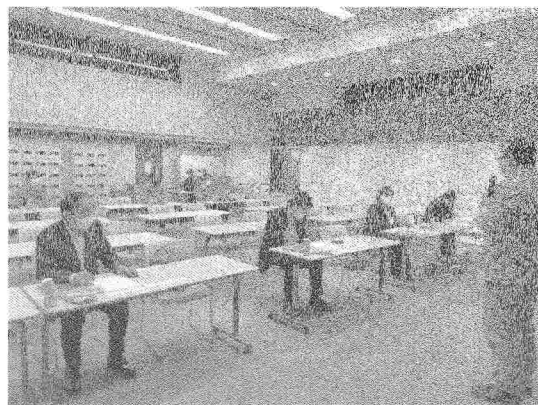
- (1) 原発再稼働のスケジュールについて
別紙図資料のとおり
- (2) 本稼働時における脱炭素量についてどのような数値となるのか
別紙図資料のとおり
- (3) 冷却水の海洋放水について（女川原発と福島原発）
女川原発は、原子炉冷却の為に海水を取り入れ海洋放出している。もちろん放射線量トリチウム量については基準値以下である。福島原発はアルプス水を基準値以下に処理した海洋放出を行うがトリチウムの除去ができないので希薄し基準値以下にして放出する計画である。
- (4) 化石燃料発電と原子力発電のコスト差について
別紙図資料のとおり
- (5) 北朝鮮ミサイルの攻撃に対する安全対策は検討しているか
防衛省の検討事項である
- (6) 原発再稼働後の労働者数の減少は
現在の女川原発での陣容は5,300人で内、電力社員が500名、工事関係者が4,800名である。女川原発2号機の再稼働後は、3号機の再稼働が控えているので多少の減少はあるかと思われるが今は、2号機再稼働を確実に
行う体制である。
(女川原発2号機稼働で宮城県の電力需要の3割を賄う発電量となる)

5 添付書類：別添のとおり



安全対策工事が進む女川原子力発電所の全景(2023年2月撮影)

発電所だより4月号より引用



概要説明状況

会派参加者		
1	土井 光正	代表
2	石森 晃寿	副代表
3	手代木せつ子	幹事
4	浅野 直美	会計